

The World Association for Waterborne Transport Infrastructure

PIANC-Japan 国際航路協会日本部会



Newsletter March 2022 (Vol.22-1)



PIANC日本部会の2021年後半の活動について

1. 会長メッセージ



2021年度後半も、会員各位のご協力により、日本部会は活発な活動を行うことができました。秋には国内の聴衆を対象としたオンラインセミナーを開催し、多数のご参加を頂きました。講師を引き受けていただいた国土交通省、水産庁、港湾空港技術研究所、五洋建設の方々に厚くお礼申し上げます。また、初めての試みとして、海港委員会のWGレポート(コンテナターミナルの自動化計画)の邦訳を日本部会と(一社)港湾荷役機械化システム協会との協働により行いましたので、ご活用いただければと思います。大部のレポートの翻訳作業に携われた両団体の皆さま、大変お疲れさまでした。

本部の活動、日本部会の活動とも、引き続きオンラインが中心となりましたが、来年度は対面での活動を再開できることを期待しております。

2021年8月

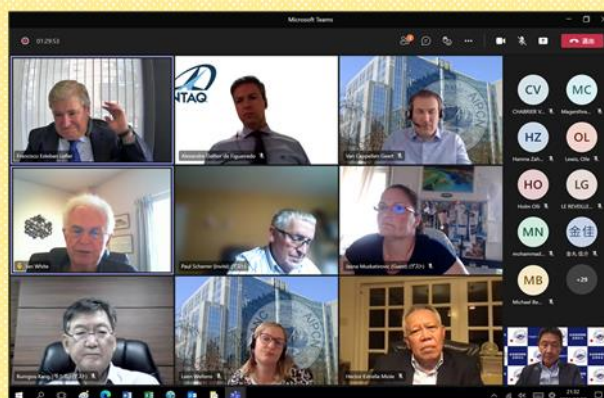
日本部会会長 岡田光彦



2. 2021年度の主な活動(9月～3月)

1) 第85回評議会(カウンスル)への参加(オンライン)

2021年10月20日、PIANCの第85回 Council 及び各国部会事務局長会議が、オンラインにて開催されました。我が国からは、岡田副会长、林田名誉副会长、日本政府より港湾局の金丸首席国際調整官(首席代表代理)ほか、PIANC-Japanより鈴木事務局長が出席しました。



第85回評議会の模様

2) 委員会活動、WG 活動の充実

・委員の交代

環境委員会(EnviCom)日本代表委員が深海正彦(鹿島道路(株))様から中川康之様(港湾空港技術研究所)に交代いたしました。

・新たに以下のWGの報告書が本部より公開されました。

InCom WG198 Saltwater Intrusion Mitigation in Inland Waterways
(2021)

WG210 Smart Shipping on Inland Waterways

(WGレポート和訳)

以下のレポートにつきまして(一社)港湾荷役機械システム協会と和訳版を作成しています。ご希望の方は事務局までご連絡ください。

MarCom WG208 Planning for Automation of Container Terminals

・2022年2月28日に、委員会及びWG関係者で連絡会議を開始し、情報の共有を図りました。

・オンラインにより各委員が本部主催の委員会に参加しております。



3) オンラインを活用した活動



① 2021年度 PIANC オンラインセミナー

・10月26日にオンライン形式によりセミナーを開催し、昨年同様200人近い聴講者の参加を得ました。4人の講師による港湾、漁港、地盤改良技術及びPIANCのWG報告に対し、活発な質疑応答が行われました。なお、本セミナーは、PIANCのプラチナパートナーである五洋建設(株)本社の会議室からのオンライン配信により行いました。



国土交通省港湾局 産業港湾課長
西尾保之「カーボンニュートラルポート
の形成に向けた取り組み」



水産庁漁港漁場整備部 計画課
総括補佐 森 健二「新たな漁港漁場
整備長期計画の策定に向けて」



五洋建設(株) 土木本部
土木計画部 担当課長 堤 彩人
「Gi-CIMIによる地盤改良の見える化」



港湾空港技術研究所 特別研究主幹
(先端情報システム) 吉江 宗生
「コンテナターミナルの自動化:WG208」

② 土木学会共催「技術基準の国際化セミナー」の開催

・初の試みとして、(交社)土木学会国際センターとの共催で、第五回「技術基準の国際化」を3月8日に開催いたしました。港湾局宮田室長、岡田会長の説明のほか、WGやYPの活躍の様子をオンラインでお伝えしました。約181人の方々にご参加いただき、WG活動を通じた我が



港湾局 宮田室長



PIANC-Japan
岡田会長



みなと総合研究財団
高橋宏直氏

国港湾技術者の活躍の様子をご理解いただけたと考えます。



北海道大学 渡部教授



YPCom 伴野委員



鈴木事務局長



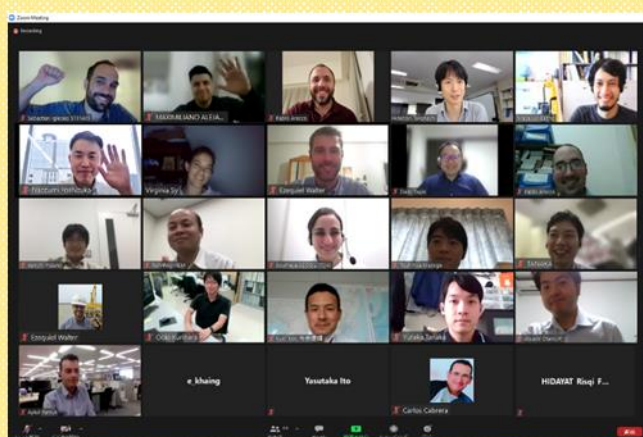
MarCom 樋口委員
閉会挨拶

4) YP (Young Professional) 活動の充実



① 2021年度 PIANC オンラインセミナー

- ・「YP オンラインセミナーシリーズ」を開催しています。今年度8月以降8回開催し JICA、国土交通省からもご発表頂きました。
- ・また、YPではアルゼンチン部会YPと交流を持っており、オンラインシリーズセミナーでも発表頂きました。



PIANC YP Argentina and PIANC YP Japan invites you to
PIANC YP-Com Webinar
JULY 15- 8 Hs JAPAN / JULY 14 - 20 Hs ARGENTINA

	Re-functioning and upgrading construction works of main two piers in Puerto Madryn, Chubut, Argentina Sebastian Iglesias MSc. Civil Engineering TU Delft
	Marine Deep Mixing Method Using ICT and BIM/CIM Soumaya ADDOU TOA Corporation
	Preliminary study of Japanese port structure design considering the effects of climate change Daiki TSUJIO Pacific Consultants

Registration: Link attached



アルゼンチンYPとの時差12時間のオンラインセミナー

- ・本年よりYPのHPを開設いたしました。
<http://pianc-jp.org/ypcom/index.html>
- ・今後ともYP活動の充実を図っていきます。

5) DE PAEPE-WILLEMS 賞の受賞

- ・不動テトラの橋田雅也さんの「Maintenance technology of wave-dissipating works using 3D data」が2位に入賞しました。日本からの入賞は2019年の倉原義之介さん（東亜建設工業）以来で5人目になります。
- ・同賞は、40歳以下の若手を対象としており、毎年8月末に応募が締め切られます。これから、積極的なお申込みをお願いします。



3. 会員動向



- ・本年度はあらたに6名の方が新規入会されました。今後も、日本部会の拡充を図ってまいります。
- ・会員向けに PIANC-Japan のロゴをデザインした、ピンバッジを配布しました。お役立て下さい。

4. 2022年度の活動について



1) 2022 年日本部会主要予定行事

- 5月27日 PIANC アジアセミナー2022 (オンライン)
近々募集を開始します
- 5月30日～6月3日 2022年 AGA
ベルギーのリエージュで開催されます (ハイブリット)
<https://www.pianc.org/aga>
- 6月15日 日本部会理事会、総会 (グランドアーク半蔵門)
- 10月18日～21日 SMART RIVERS 2022 (南京、クラウンプラザホテル)
- 国内向けオンラインセミナー
 - ・昨年10月に開催したオンラインセミナーを継続開催し、国内の最新情報を皆様にお届けする予定です。
- 継続して委員会・WG 活動への参加を行います
- YP オンラインセミナーシリーズの開催。
今後の開催情報は随時 YP ホームページに掲載予定です。

2) お知らせ

- ・9月18日～21日開催の US-PIANC/ASCE 開催の PORT'22 に、岡田会長がパネリストとして参加予定です。(開催地;ホノルル)



5. 活動記録



最近の MarCom 活動について

MarCom メンバー

(株)オリエンタルコンサルタンツ 常勤顧問・技師長
樋口 嘉章

2020年1月末、ブリュッセルで開催された MarCom に出席しました。その頃、ヨーロッパでも、武漢での新型コロナが大きく報じられ、WHO が緊急事態宣言を出しましたが、人々はまだまだ危機感を感じていませんでした。その後、世界的な感染急拡大のため、これ以降の MarCom はすべてオンラインでの開催となりました。

MarCom のメンバーは欧州、イラン、日本・豪州、北米・南米とすべての時間帯にまたがるため、時差を考慮するとあまり長い会議はできません。このため1回あたりは3時間、日本での時間帯は午後10時から午前1時（夏時間では午後9時から午前0時）です。日本にいないが時差ボケを体験することになっています。

この2年間にオンラインでの会議を10回重ねましたが、新たに MarCom に加わったカナダやドイツのメンバーとはまだ一度もリアルで会えないままです。エグバート・ファン・デル・ヴァル議長もフラストレーションを感じている様子で、次回の MarCom については、6月2日にリエージュで開催される AGA に合わせて久しぶりにリアルでやることを模索しています。ただし、日本からも参加できるかは、現時点では不確定だと思っています。

2021年に出版された WG レポートは、WG208「コンテナターミナルの自動化計画」だけでした。WG208は、D/F 執筆の最終段階でコロナの感染状況が悪化し対面での会合が難しい状況下となったため、半年間に6回オンライン会合を精力的に重ね、レポートを仕上げました。会長メッセージでも紹介されているように、邦訳版も作りましたので手に取っていただければと思います。



2022年は既に、WG153B「海洋の石油・ガス・石油化学ターミナルの設計・評価のための勧告」、WG186「大型船の岸壁への係船」、WG194「インフラプロジェクトにおける ECI（アーリー・コントラクター・インボルブメント）のための枠組み」、WG211「防舷材ガイドライン」などの D/F レポートが出てきており、今年中にこれらが出版される予定です。

(2022年3月6日)

